

◇本時の目標

白子川源流・水辺の会の方にインタビューをして、身近に流れる白子川についてくわしく調べる。

◇主に活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等

Zoom

	学習活動	★ICT 活用場面
導入	1 ゲストティーチャーの紹介をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">白子川源流・水辺の会の方にインタビューをしよう。</div>	
展開	2 白子川源流・水辺の会の方に白子川の源流の様子をリアルタイムで紹介していただく。 3 子供たちからの質問	★zoom でゲストティーチャーとオンラインで交流する。
まとめ	4 感想を述べあい、感謝の気持ちを伝える。	



◇授業のポイント

ゲストティーチャーとオンラインでつながることにより、教室に居ながらにして白子川の源流の様子をリアルタイムで見学することができた。ゲストティーチャーとの事前の打ち合わせと ICT 機器の準備が大切である。

◇授業を振り返って

白子川源流・水辺の会の方のご厚意で実現できた。その場ですぐに子供たちの疑問に答えてくださったので子供の興味・関心が高まり、その後の調べ学習やまとめへの学習意欲につながった。

C4：学校の壁を越えた学習

6年

大陸から学んだ国づくり

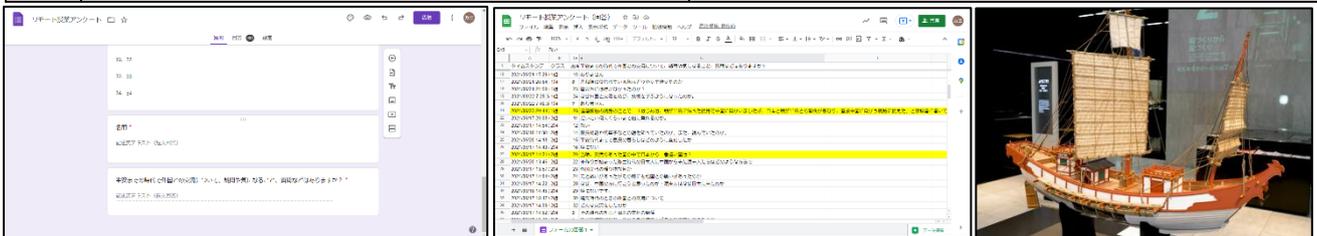
◇本時の目標

大仏が完成したころの日本とアジアの国々との交流を調べることを通して、日本の国づくりへの大陸の政治や文化の影響を捉えてまとめる。

◇主に活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等

Zoom

	学習活動	★ICT 活用場面
導入	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">日本は、大陸とどのように交流して、何を学んだのだろう。</div>	
展開	2 鑑真は、どうして命をかけて日本にやってきたのか考える。 3 出土したものを比較する。 4 九州国立博物館の方からお話を聞く。	★Zoom を用いて九州国立博物館とつなぎ、学芸員から話を聞いたり、質問をしたりする。
まとめ	5 学習問題に対するまとめを書く。	



◇授業のポイント

「つかむ」段階で、児童が出した予想や疑問を資料の読み取りだけでなく、実際に研究している学芸員から話を聞くことで大陸とくにのつながりを深く捉えられるようにした。専門的な知識を学び、歴史上の出来事の位置や広がりなどを読み取り、当時の人たちにとって大陸に渡ることの重要性を感じ取ることで、学習問題に対する学びを自分なりの言葉や文章で表現できるのではと考えた。

◇授業を振り返って

これまでの学習で疑問に思ったことについて児童に事前アンケートをとり、リモート学習で学芸員に質問をした。資料の読み取りだけでは分からなかった部分について深く掘り下げることができ、さらに興味・関心を高めることができた。